

## 事業報告

### エアカフェ®

#### 1 事業の目的

コロナ禍や人口減少社会など、これまで経験したことのない不安や課題が山積する社会では、新たな知恵や発想を生み出すことがますます求められている。

障がいがある人ない人、高齢者、子ども、外国人、育児や介護に携わる人など、多様な個性や環境にいる人々が集まることで「新たな知恵」が生み出される可能性が、新しい図書館にはあるのではないか。多様な人たちが、互いの能力や考え方、経験を認め合い、暮らしのよりどころや居場所となるため、エアカフェ®※<sup>1</sup>によるコミュニケーション体験を通じて、既成概念への気付き、図書館のアクセシビリティ※<sup>2</sup>機能の充実や、図書館の在り方を検証する。

※1 エアカフェ®は、一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティの登録商標です。

※2 年齢や身体的条件など制約に関係なく、物理的環境、輸送機関、情報通信及びその他の施設・サービスを利用できること。

#### 2 事業実施概要

##### (1) 事業名

コロナ禍で生まれたマスクをしたまま「おいしく」話せるエンターティメント「エアカフェ®」  
～先行きの見えない今こそ、想像力と対話の力を楽しもう！～

##### (2) 実施事業の目的

実際の飲食はなく、表情とボディランゲージのプロである聴覚障がいのあるアテンドがカフェ店員に扮し、“エア”パフォーマンスで本物以上においしいカフェメニューを提供する。新型コロナウイルス感染拡大以降、マスク着用等のコミュニケーションに制約の多い今だからこそ、聴覚障がいのある人が持ちうる非言語コミュニケーションをともに体験することで、参加者に新たな気付きを与える。

##### (3) 実施概要

- ① 実施日時：令和4年3月26日（土）13:00～／15:00～（各回60分）
- ② 実施場所：別府市役所 5階大会議室
- ③ 主催：別府市教育部教育政策課
- ④ 運営企画：株式会社オープン・エー、ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン
- ⑤ 参加人数：13:00～ 15名 / 15:00～ 14名

#### (4) 実施状況



別府地区聴覚障害者協会との交流を行った



エアカフェ®の様子



聴覚障がいのあるアテンドがジェスチャーで料理を表現する



参加者も一緒にメニューをつくりはじめる



参加者の表現力もだんだん豊かになっていく



表情もだんだん豊かになり笑顔でコミュニケーション

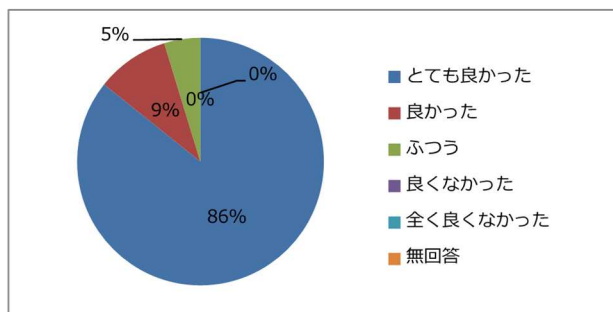


### 3 事業実施結果

#### (1)参加者アンケート

1 エアカフェを体験して、いかがでしたか？

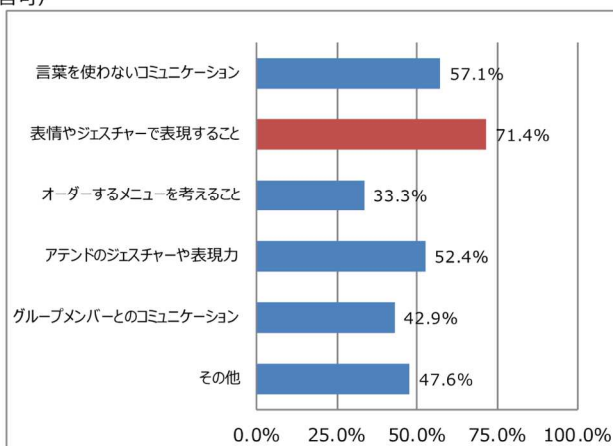
項目	回答数	%
とても良かった	18	85.7%
良かった	2	9.5%
ふつう	1	4.8%
良くなかった	0	0.0%
全く良くなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
小計	21	100.0%



・「とても良かった」、「良かった」が95%を超え、非常に満足度の高いプログラムであった。

2 エアカフェ体験を通じて、どのようなことが「楽しい」と感じましたか？（複数回答可）

項目	回答数	%
言葉を使わないコミュニケーション	12	57.1%
表情やジェスチャーで表現すること	15	71.4%
オーダーするメニューを考えること	7	33.3%
アテンドのジェスチャーや表現力	11	52.4%
グループメンバーとのコミュニケーション	9	42.9%
その他	10	47.6%
回答者数	21	



<その他>

- ・手話が楽しかったです。
- ・とにかく楽しかった。
- ・私自身の表現力の乏しさを感じました。外国籍の人と交流ができていいなと思います。

・ジェスチャーでの表現で言葉を使わないでどのように相手に理解してもらえるかよく考えてコミュニケーションをとってくれたところ。理解してもらおうと様々な手段で話しかけてくれたところ。

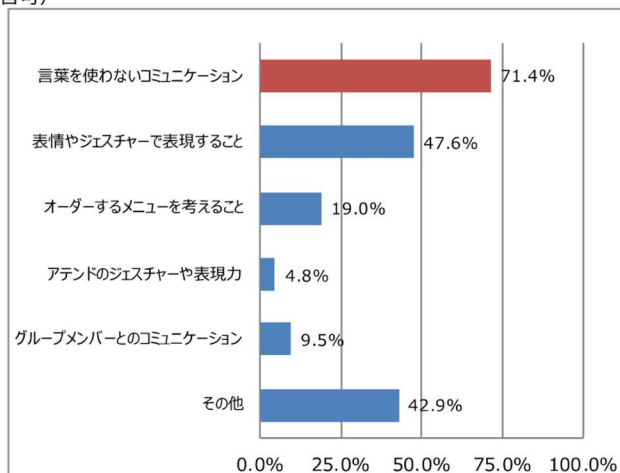
- ・何気ないことでも伝えること、当たり前が意思疎通ができるとうれしかった。
- ・うまく伝わらないところ。わかるまで繰り返す。
- ・チラシだとどんなことをするかわからなかったが、参加してたくさん気づきがありました。
- ・アテンドの方のジェスチャーが楽しかった。
- ・ジェスチャーで表現できる多様さにびっくりしてとても楽しかったです。
- ・言葉はなかったけれど、異文化コミュニケーションの感覚がありました。

- ・「表情やジェスチャーで表現すること」が楽しかったという人が7割を超えた
- ・その他で、気づいたことを述べる人も多く、参加者に様々な気づきを与えるプログラムだった



3 エアカフェ体験を通じて、どのようなことが「難しい」と感じましたか？（複数回答可）

項目	回答数	%
言葉を使わないコミュニケーション	15	71.4%
表情やジェスチャーで表現すること	10	47.6%
オーダーするメニューを考えること	4	19.0%
アテンドのジェスチャーや表現力	1	4.8%
グループメンバーとのコミュニケーション	2	9.5%
その他	9	42.9%
回答者数	21	



<その他>

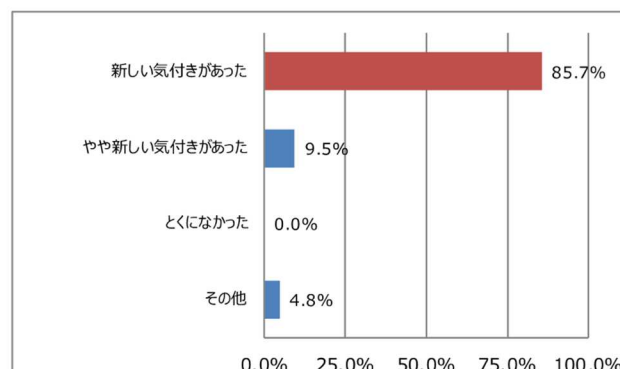
- ・表現するのが難しかった
- ・通訳の方がいないときちんとした言葉、気持ちが伝わらないのが少しはがゆい気持ちになりました
- ・難しいことはないと思うけど、相手をよく見ていればわかる気がする
- ・気持ちや形のないものを表現すること。
- ・手話の勉強を再度始めようと思いました
- ・理解して、理解されることの難しさを感じた。ただ本来のコミュニケーションも言葉だけでは伝わらないこともあり、表情なども含めて大事だと感じた。
- ・果物を表現したかったが伝え方が難しかった
- ・ジェスチャーで表現しづらいものをさけてしまった（果物、キウイが良かったけど伝えづらくてみかんにしてしまった）
- ・楽しかったです

・「言葉を使わないコミュニケーション」が難しいと感じる人が7割を超えた

・質問2の回答と合わせて、気づいたことを述べる人が多く、コミュニケーションの多様さや難しさに気付いた人が多かった

4 エアカフェ体験を通じて、新しい気付きがありましたか？

項目	回答数	%
新しい気付きがあった	18	85.7%
やや新しい気付きがあった	2	9.5%
とくになかった	0	0.0%
その他	1	4.8%
回答者数	21	



<その他>

- ・さくらんぼの手話がわかった
- ・途中でつまづくあとがやばくなりました
- ・コミュニケーションできることの楽しさ、ありがたさを感じた
- ・喋るのが得意な人でも、ジェスチャーになると下手になったり、喋るのが苦手な人でもジェスチャーだと得意だった
- ・考えていることを言葉意外で表現する難しさ、エアカフェの店員さんたちの表現が豊かでくみとりやすかった
- ・普段見ているようで見えていないことが多くあると感じました
- ・気持ちを表現するのがとても難しかったですが、アテンドの方の表現力で楽しい時間を過ごせました
- ・「見る」と「する」のは大きく違うと感じました。とても楽しい体験ができました。
- ・どのようにすれば伝わるかを考えることが楽しく、伝わったときの喜びを感じた。
- ・とにかく楽しかった。
- ・言葉の大切さを改めて認識しました。
- ・言葉で話すときよりも伝えたいものを色や形をより強くイメージしていた気がします。

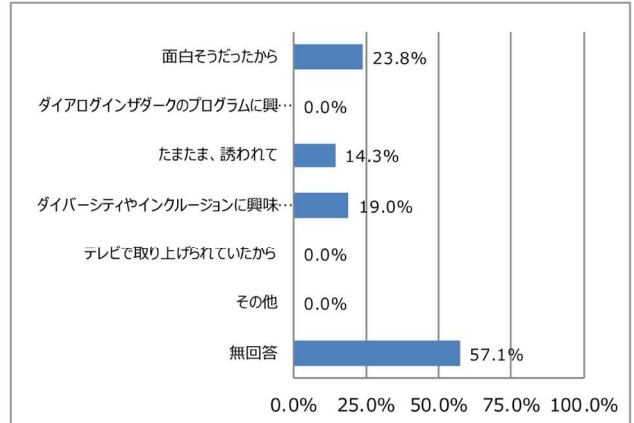
・「新しい気付きがあった」が95%を超え、気付いたことを述べる人が多かった。

・改めてコミュニケーションの多様さや大切なことに気付いたり、感じる人が多かった。

5 エアカフェに参加した理由はなんですか？

項目	回答数	%
面白そうだったから	5	23.8%
ダイアログインザダークのプログラムに興味があった	0	0.0%
たまたま、誘われて	3	14.3%
ダイバーシティやインクルージョンに興味があった	4	19.0%
テレビで取り上げられていたから	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	12	57.1%
回答者数	21	

- ・「面白そうだったから」が約2割以上を占めた。
- ・裏面未回答の人が半数以上いた。

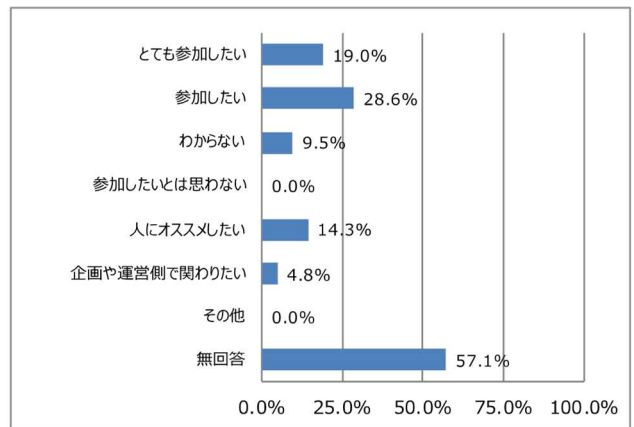


6 新図書館は、障害のある人もない人も誰もが利用し、交わる場を目指しています。

エアカフェのような体験が、新図書館でできるとしたら参加したいと思いますか？（複数回答可）

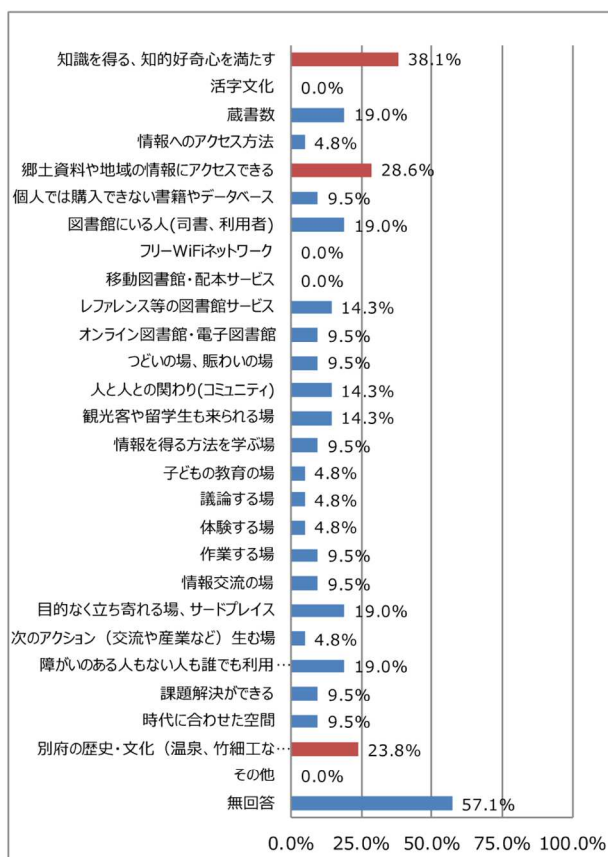
項目	回答数	%
とても参加したい	4	19.0%
参加したい	6	28.6%
わからない	2	9.5%
参加したいとは思わない	0	0.0%
人にオススメしたい	3	14.3%
企画や運営側で関わりたい	1	4.8%
その他	0	0.0%
無回答	12	57.1%
回答者数	21	

- ・「とても参加したい」「参加したい」が約半数を占めた。
- ・「人にオススメしたい」「企画や運営側で関わりたい」人も見られ、参加だけでなく主体的に関わりたい人も見受けられる



7. あなたが新しい時代に図書館に求めるものは何ですか。(複数回答可)

項目	回答数	%
知識を得る、知的好奇心を満たす	8	38.1%
活字文化	0	0.0%
蔵書数	4	19.0%
情報へのアクセス方法	1	4.8%
郷土資料や地域の情報にアクセスできる	6	28.6%
個人では購入できない書籍やデータベース	2	9.5%
図書館にいる人(司書、利用者)	4	19.0%
フリーWiFiネットワーク	0	0.0%
移動図書館・配本サービス	0	0.0%
レファレンス等の図書館サービス	3	14.3%
オンライン図書館・電子図書館	2	9.5%
つどいの場、賑わいの場	2	9.5%
人と人との関わり(コミュニティ)	3	14.3%
観光客や留学生も来られる場	3	14.3%
情報を得る方法を学ぶ場	2	9.5%
子どもの教育の場	1	4.8%
議論する場	1	4.8%
体験する場	1	4.8%
作業する場	2	9.5%
情報交流の場	2	9.5%
目的なく立ち寄れる場、サードプレイス	4	19.0%
次のアクション(交流や産業など)生む場	1	4.8%
障がいのある人もない人も誰でも利用できる場	4	19.0%
課題解決ができる	2	9.5%
時代に合わせた空間	2	9.5%
別府の歴史・文化(温泉、竹細工など)がわかる	5	23.8%
その他	0	0.0%
無回答	12	57.1%
回答者数	21	



・「知識を得る、知的好奇心を満たす」がもっとも多く、「郷土資料や地域の情報にアクセスできる」が約3割、「別府の歴史・文化(温泉、竹細工など)がわかる」が2割以上を占めた

8. その他、新図書館整備事業やエアカフェに対するご意見等、ご自由にご記入ください。

- ・第1類に入るような基本図書も増やしてほしいです。第3類の本もたくさんの人に利用してもらうために必要ですが、本の楽しさが伝わる、学べる本も揃えてほしいです。
- ・とても楽しめました。

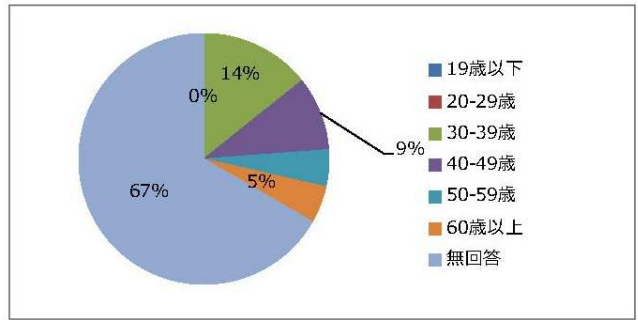
※第1類：日本十進分類表の分類。哲学、心理学、倫理学、宗教。

※第3類：日本十進分類表の分類。政治、法律、経済、統計、社会、教育、民俗、軍事。

9. あなたの年齢・性別・居住地を教えてください。(該当項目の1つに☑)

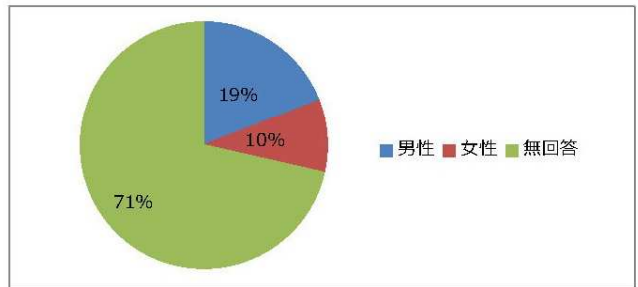
年齢

項目	回答数	%
19歳以下	0	0.0%
20-29歳	0	0.0%
30-39歳	3	14.3%
40-49歳	2	9.5%
50-59歳	1	4.8%
60歳以上	1	4.8%
無回答	14	66.7%
小計	21	100.0%



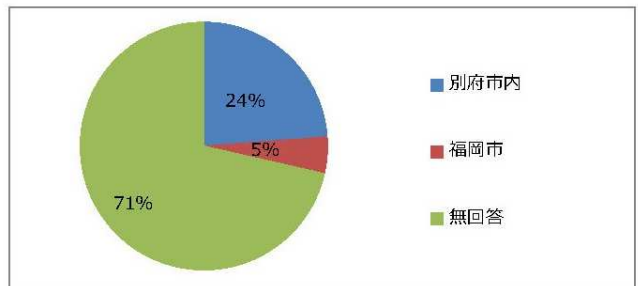
性別

項目	回答数	%
男性	4	19.0%
女性	2	9.5%
無回答	15	71.4%
小計	21	100.0%



住所

項目	回答数	%
別府市内	5	23.8%
福岡市	1	4.8%
無回答	15	71.4%
小計	21	100.0%



## (2) 今後の検討課題

エアカフェ®の実施やアンケート結果などを踏まえ、今後の検討課題を下記にまとめる。

障がいがある人となない人がコミュニケーション体験を通じて相互理解する場づくりは、別府市新図書館が掲げる「ひとりひとりの暮らしと創造のよりどころ」となるために重要な取組である。しかし、日常生活のなかでこうした機会や経験は非常に少ないのが現状である。

エアカフェ®のようなプログラムは、障がいがある人となない人それぞれの日常の垣根を取り払う、一つの大きなきっかけになったと考えられる。参加者から、非言語コミュニケーションの難しさ、再発見や気づきが多く寄せられ、なにより聴覚障がいのあるアテンドの、生き生きとした表情やジェスチャーによって生まれた場の楽しさに満足した。こうした気づきは、障がいの有無に関わらず、人が豊かに幸せに生きることにつながる気づきであり、「当たり前」を見直すきっかけになると考える。また、障がいはマイナスではなく、個性や長所であることを認め、尊重し合うことを実感できる場でもある。

エアカフェ®のように、なにか特別なことをせずとも、障がいがある人が「日常的」に行っていることを体験できるようなプログラムを、多様な人々が一緒に考えていくことで、別府市新図書館ならではのプログラムができるのではないかと考える。そのプロセスこそがインクルージョンにつながり、さらに市民が体験することによってその理解を訴求していくことにもつながる。

障がいの有無に関わらず、多様な人々が図書館を通じて、交わり、気づき、暮らしのよりどころとなるためには、そのプロセスメイクも重要である。